



真澄の空

令和3年10月8日
第9号

南郷中HP
URL



美里町立南郷中学校 学校だより

1学期が終了しました。



本日（10月8日）、1学期終業式を行いました。美里町では、今年度から試行的に2学期制を導入しているため、例年とは、なんとなく雰囲気異なる終業式となりました。

1学期の学校生活を振り返ってみると、合唱コンクールや陸上、駅伝大会に向けた練習など、様々な場面で南郷中生の頑張りを見ることができました。今年度は、「変身」をテーマに掲げていますが、各種行事の中で、自分の可能性を広げたり、成長させたりしている姿をたくさん見ることができ、うれしく思いました。来学期もさらなる変身を遂げるよう、学校でも支援していきたいと思っておりますので、ご家庭でもお励ましてください。

終業式では、各学年及び生徒会総務を代表して4名の生徒が、1学期の反省と2学期の抱負を発表しました。その内容を紹介します。（原文どおりに掲載します。）



1学年代表 千葉 直哉 さん

コロナ禍の中、入学してからこの1学期、中学校生活に慣れよう、いろいろなことに精一杯取り組もうと頑張ってきました。1学期は、「日常生活をしっかり送ろう」という先生方の指導の下で、整理整頓や3分前着席、時間に余裕を持つことなどを意識しながら生活してきました。ほとんどの人が正しい生活で意識して生活できていたように思います。学習では「どの授業も真剣な態度で

受けていた、自主学習を毎日提出した」、「部活動でも、先生方に教えられたことをしっかり受け入れて臨んでいた」など、良い点がたくさんありました。しかし一方で、提出物を期限までに提出できない人がいた、廊下で騒いでいたなど、ルールやマナーを守れなかった人がいたことは反省点です。

2学期は、さらに学年全体が向上していくために、この反省を意識して生活していく必要があると思います。学年集会で先生から「情熱はすべての壁を乗り越える力になる」という話をされました。目の前のことに一生懸命取り組みながら、みんなで声を掛け合って、今以上によい学年に成長していきたいです。



2学年代表 伊藤 海莉 さん

4月から新しいクラスでの学校生活が始まりました。合唱コンクールなどの学校行事や部活動での大会などを経験して、あっという間に一年の半分が終わりました。そこで私は1学期を振り返り、2学期の抱負について考えました。

まず、1学期の反省点は、時間を見て行動することでした。クラスの雰囲気や生活にも慣れてきて、3分前着席が疎かになってきたり、給食準備の取りかかりが遅くなってきたりしていると思いました。先生方から何度か注意を受けているので、そこが私たち2学年の課題の1つだと思います。一人一人が時間を見て行動できるように、気付いた人の声掛けだけでなく、自ら意識する姿勢を心掛けさせていきたいです。それらを踏まえて、2学期の抱負は、互いを高め合い、協力し、周囲を見て行動することです。2学期は運動会があります。全校生徒で協力し合うことが一番大切だと思います。私たち2学年は中堅学年として、1年生と協力して3年生を支え、行事を成功させたいです。私たちは来年の4月から3年生になります。2学期の抱負として掲げた目標を達成できるように、学校行事だけでなく、日々の学習や生活、部活動等にも積極的に取り組み、さらにレベルアップしていきたいです。



3学年代表 柘植 寧音 さん

私たちは、3年生として重点的に頑張ったことが3つあります。1つ目は3分前着席です。4月頃は、ぎりぎりに着席する人がいたり、周囲で座っていない人がいても呼びかける生徒があまりいませんでした。そこで、生活目標に取り入れるようにしました。その結果、3分前着席が大分改善され、今では、時間を見て行動する人が増えました。今後も継続していきたいです。2つ目は自主勉強の取組です。最初の頃は、呼び掛けや、提出率を廊下に掲示することで100%の提出率が多く見られました。しかし、呼び掛けが無くなると一気に提出率は下がり、受験生としての自覚が感じられなくなりました。2学期には、呼び掛け無くとも自ら提出できるような雰囲気作りを頑

張りたいと思います。また、自主勉強の中身を工夫したり、テストに向けた学習の計画を立てて取り組んだりするようにしていきたいと思います。3つ目は先行あいさつです。先生には、あいさつをするのに、他学年に対してのあいさつが少ないことが気になりました。今後は、3年生として自然にあいさつができる環境を作るため、いろいろなアイデアを実践していきたいと思います。最後に、これから、運動会、修学旅行と立て続けに行事があります。実行委員や団長、副団長だけがリードするのではなく、気付いた人が自ら率先して行動できる集団になっていきたいと思います。



生徒会総務代表 海上 凜 さん

私たち生徒会総務の前期を振り返った反省は大きく分けて3つあります。まず、今年度行ったあいさつ運動についてです。昨年度は、ほぼ総務のみの活動となっていたあいさつ運動をみなさんにも協力してもらい、より充実したものになりました。朝に感じる学校全体の重い、暗い雰囲気もあいさつをすることで自然と明るい雰囲気になったと思います。次に壮行式の運営・進行についてです。リモートでの式という慣れない状況の中での進行は、声が聞こえづらかったり、上手く接続されなかったり、今までの壮行式では経験することのない苦労がたくさんありました。その分どん状況にも対応できるように工夫して運営をしたので、スムーズに式を進めることができた点が良かったです。行事以外の活動では、課題にしていた活動を時間内に終わらせることが少しずつできるようになってきました。ですが、何度か活動が長引き、部活に行かない時間が増えてしまったこともありました。一人一人が意見を出し合い、話し合いを簡潔にまとめることを意識して後期に活動を行っていきたいです。朝早い時間からのあいさつ運動、スローガン決定のアンケートに協力していただいた生徒のみなさん、応援メッセージを書いてくださった先生方、ありがとうございました。そして、後期も引き続き、よりよい学校生活にするためにご協力をお願いします。

郡新人大会 ・ 大崎地区弁論大会

9月25日(土)、郡新人大会が開催されました。前日の雨の影響で、ソフトテニス大会が個人戦のみとなってしまいましたが、各会場で熱戦が繰り広げられました。事後報告会で、各部長から、大会では、「良かった面もあったが、課題も見つかった。」という報告がありました。これから冬期間となり、全体練習の時間は短くなりますが、効率的な練習を行い、課題の克服に努めてほしいと思います。

10月5日(火)には、南郷中学校を会場に大崎地区弁論大会が行われました。コロナ禍のため、今年度は、大崎地区を東西2つのブロックに分け、また、会場校の生徒もリモートでの参加という例年とは異なった形式で開催されました。南郷中からは、1年生の赤間日音さんが代表として参加しました。「苦手を克服を前向きに」という題で、合唱コンクールで実行委員を務めたことがきっかけで、自分の意識を変え、苦手を克服できたこと、その経験から努力の大切さを学んだことを堂々と発表しました。リモートでの参加ということで、会場に行くことはできませんでしたが、クラスメイトも横断幕を作成して、教室から日音さんを応援していました。



< 新人大会入賞者 >

- ◆ 優勝 卓球男子団体
- ◆ 第1位 卓球女子個人: 佐藤楓花さん ・卓球男子個人: 齋藤 琉樹さん
柔道男子個人中・重量級: 芳賀 龍さん, 軽・中量級: 横山 遼さん
- ◆ 第2位 卓球女子個人: 戸羽 心音さん
- ◆ 第3位 ソフトテニス女子個人: 石垣 葉奈さん, 木村 月乃さんペア



水難事故防止教室

10月4日(月)、美里町スイミングセンターさんのご協力のもと、宮城県海上保安部の職員の方を講師にお招きして、「水難事故防止教室」を開催しました。当日は、落水時の対応方法など、いざという時に役立つ貴重な知識を学ぶことができました。教室に参加した3年生は、「着衣泳をやってみて、服の重さに驚いた。」「ペットボトルの浮力にびっくりした。」などという感想を述べていました。自分の命は自分で守るという観点からも、正しい知識を持つことは重要なことです。水難事故だけでなく、様々な事故防止について、ご家庭でも話題にしていきたいです。

